

## 2003 年度 委員会活動成果報告

( 2004 年 3 月 31 日作成 )

委員会名	医療施設小委員会	主 査 名：今井正次
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>疾病構造の変化にともない、医療の概念が大きく変化しつつあり、それにともなって医療施設も大きな変革を遂げようとしている。本小委員会はこれらの現状に鑑み、新しい医療施設の機能分化を背景とした医療環境のあり方を学術的に検討することを目的としている。すなわち、医療施設の病床が急性期病床から慢性期病床まで機能分化する中で、それぞれの施設が担うべき医療機能にしたがった施設の特化に関する施設計画や、特に急性期医療施設においては、臓器移植、遺伝子治療、核医学など新しい医療技術が取り入れられ、また同時に今までの感染管理の概念が新しく整理されるなど、新たな施設計画が必要となっている。これらに関し、情報・事例収集とHPなどによる情報提供。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>主査 今井正次 三重大学            幹事 筧 淳夫 国立保健医療科学院            幹事 山下哲郎 名古屋大学            系山 剛 (株)竹中工務店 医療福祉本部            岡 ゆかり 東京大学            加藤彰一 豊橋技術科学大学            菅野 實 東北大学            茂 香 (株)京都建築事務所            須田真史 国立保健医療科学院            高橋公雄 (株)公共施設研究所            友清貴和 鹿児島大学            長澤 泰 東京大学            中野 明 京都女子大学            梅 林 広島国際大学</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>診断・治療空間計画ワーキンググループ            急性期医療施設の新しい医療環境のあり方を学術的に検討するために、臓器移植、遺伝子治療、核医学などの新しい医療技術や、感染管理の新しい概念などといった、診断・治療空間の計画に影響を与える要因の情報を収集することを目的とする。</p>	
2003 年度予算	263,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>1.小委員会 + WG            日時：2003年9月6日 参加者数 11名</p> <p>2.施設見学「沖縄の医療施設の最新状況」            日時：2003年10月2～3日 参加者数            沖縄県立中部病院 (仮)(pdf:4,813kB)            志誠会 平和病院 (仮)(pdf:410kB)            ちばなクリニック (仮)(pdf:737kB)</p> <p>3.施設見学「東京臨海病院」            日時：2004年2月2日(月)</p> <p>4.小委員会 + WG            日時：2003年2月2日(月) 参加者数 9名</p> <p>5.施設見学「(医)偕行会 名古屋共立病院」            日時：2004年3月8日(月) 参加者数 10名</p> <p>4.小委員会 + WG            日時：2004年3月8日(月) 参加者数 10名</p>

<p>得られた成果</p>	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)          本小委員会の今年度の活動において、新しい医療施設の機能分化を背景とした医療環境のあり方の事例を視察し、それを広く会員に知らしめるために、HPの充実を図った。</p>
<p>目標の達成度</p>	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)          近年話題となっている移植・遺伝子などといった医療における施設計画上の役割については明らかにすることができなかったが、様々な機能分化に伴う新しい医療施設像について事例を取り上げ課題を明らかにした。</p>
<p>その他評価すべき事項</p>	<p>HPを作成し会員への情報提供を行った。</p>